

PH調整剤 アップ(上昇用) ダウン(下降用)



- 毒性 アップ(上昇用) 普通物
 ダウン(下降用) 普通物
- 包装 アップ(上昇用) 10ℓ バッグインボックス入り
 ダウン(下降用) 10ℓ バッグインボックス入り

水耕栽培、礫耕栽培、NFT、ロックウール栽培等では、培養液のpHを安定させることが、養液栽培を成功させるポイントの一つです。培養液のpHを安心して調整する為に開発されたのが、OATアグリオのPH調整剤「アップ(上昇用)」「ダウン(下降用)」です。

[成分組成]

PH調整剤アップ	水酸化カリウム	3.5%
	アルカリ緩衝剤、水	96.5%

指針番号	154
国連番号	3266

[特長]

1. 培養液のpHを安定させることにより、根からの養分吸収が良くなり、作物を健全にします。
2. PH調整剤は肥料成分を主体とし、養液栽培の場面で培養液に添加できます。
3. 水質によりpHが上昇したり、くん炭、ロックウール等からアルカリが溶出する場合は特に「ダウン」が有効です。
4. コック付きの10ℓ バッグインボックス入りですので、取り扱いが便利です。

[使用方法]

PH調整剤アップの使い方

培養液の場合：pHが5.0以下になった場合、培養液1トン当り「アップ(上昇用)」を50ℓ添加すると、pHが約0.5～1.0程度上昇します。

※「アップ(上昇用)」はOATハウス1号、OATハウス2号の濃厚原液には混用できません。

原水、または培養液に直接加えて使用してください。

PH調整剤ダウンの使い方

1. 培養液の場合：pHが6.5以上になった場合培養液1トン当り、「ダウン(下降用)」を50ml添加するとpHが約0.5～1.0程度低下します。
2. 濃厚原液の場合：OATハウス1号の6.7～20倍原液(30kg／200～600ℓ)に対して「ダウン(下降用)」800～1500mlを攪拌しながら徐々に加えてください。
3. ロックウールの前処理の場合：OATハウス肥料の1/2標準濃度液(EC1.2dS/m)1000ℓに対して「ダウン(下降用)」約300ml(pH3前後)を攪拌しながら徐々に加え、ロックウールを数時間以上浸漬した後に鉢上げ、または定植してください。

【使用上・保管上の注意】



1. 使用量は水質、培養液濃度、生育時期等により数倍必要になる時もありますので、十分注意してください。
2. 原液を添加する時は、保護メガネ、不浸透性手袋、マスク、長ズボン、長袖作業衣等を着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
3. ご使用の際には大き目に数回揺らしてからご使用ください。
4. 石灰硫黄合剤と混用すると、有毒なガスが発生するおそれがあり、危険ですから混用しないでください。
5. 容器の口を密封し冷暗所で湿気をさけて保管してください。
6. 保管中に凍結した場合、融解してご使用いただいても品質には問題はございません。(アップ)
7. 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理してください。
8. 幼児等の手の届かない場所に保管してください。
9. 眼に入った場合は、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
10. 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診断を受けてください。
11. pH調整以外の用途には使用しないでください。